

編集後記

特定機能病院で包括医療制度が開始されました。画像診断を含む種々の検査が包括の対象であり、これまで入院中に行われていた諸検査のかんりの部分が外来に移行、あるいは割愛されている傾向がみられています。特に放射性薬剤の高価な核医学検査は包括医療の影響を受けて、検査数が落ち込む傾向があるようです。この制度はあまり必要とされていない検査を省略できる点では効果があったとしても、診断や治療方針を決定するために本来必要であるべき検査が、包括医療制度のもとで割愛されることが懸念されます。

同様の医療制度が進む米国においては、開始当初は画像診断検査数が一時的に減少したようですが、その後は順調に回復するどころか、むしろか

なり増加に転じています。これは医療訴訟の多い米国において、治療方針が的確に判断されているかが問われること、またこれを支持するようなガイドラインが確立して、必要な状況下での確な検査が施行されているためと考えられています。

わが国においても、適切なガイドラインを作成し、それに基づいた各施設でのクリニカルパスへの導入をお願いする必要があります。循環器学会をはじめ、多くの学会において画像診断に関するガイドラインの作成が進んでいます。

核医学誌では日本語での原著論文が減少しましたが、これから種々の学会で作成されたガイドラインを速やかに掲載する予定でいます。会員の諸先生方にお伝えすることで、臨床のさまざまな場面で核医学検査が有効かつ効果的に利用されることを願っています。（玉木 長良）

核医学編集委員会

委員長：	玉	木	長	良	（北海道大学 病態情報学講座核医学）
副委員長：	井	上	登	美夫	（横浜市立大学 放射線医学講座）
委員：	伊	藤	浩		（東北大学加齢医学研究所 機能画像医学）
	織	内	昇		（群馬大学 核医学科）
	菅		一	能	（山口大学医学部附属病院 放射線部）
	滝		淳	一	（金沢大学 バイオトレーサ診療学教室）
	塚	本	江	利子	（札幌医科大学 放射線医学講座）
	森		豊		（東京慈恵会医科大学 放射線医学講座）

「核医学」第42巻1号 平成17年2月20日 発行 本号定価 ¥1,500

編集兼発行者 玉木長良

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-45 日本アイソトープ協会内

発行所 日本核医学会

振替口座 00150-1-80331 番

電話東京 (03) 3947-0976 FAX (03) 3947-2535

E-mail : jsnm@mtj.biglobe.ne.jp

ホームページ : <http://www.jsnm.org/>

印刷所 株式会社海川企画

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-51-1

電話 (03) 3806-0961(代) FAX (03) 3806-0848

広告申込所 〒102-0071 東京都千代田区富士見2-12-8 電話 (03) 5226-2791(代) 日本医学広告社